

PickPoints ユーザー手引

目次

1. はじめに
 2. アプリケーションの起動
 3. 基本的な操作手順
 4. ポイント編集モード
 5. ルート編集モード
 6. レイアウトの切り替え
 7. データの保存と読み込み
 8. よくある質問 (FAQ)
 9. トラブルシューティング
-

はじめに

PickPointsとは

PickPointsは、ハイキングマップなどのPNG画像からポイントを選択し、座標データをJSONファイルとして出力するWebアプリケーションです。

主な機能

- **ポイント編集**: 地図上の特定地点にポイントを配置し、IDを付与
- **ルート編集**: ルートの中間点 (waypoint) を配置
- **データ出力**: ポイント・ルートデータをJSON形式で保存
- **データ読み込み**: 既存のJSONファイルからデータを復元

対応ファイル形式

- **入力**: PNG画像ファイル
 - **出力**: JSONファイル
 - **読み込み**: JSONファイル
-

アプリケーションの起動

必要な環境

- モダンブラウザ (Chrome、Firefox、Edge、Safari)
- JavaScript有効
- インターネット接続 (初回読み込み時のみ)

起動手順


1. ブラウザでアプリケーションを開く
2. 画面が表示されることを確認

3. 「PNG画像を選択」ボタンが表示されていることを確認

基本的な操作手順

1. 画像の読み込み

1. 「PNG画像を選択」ボタンをクリック
2. ファイル選択ダイアログが開く（モダンブラウザでは高度なファイル選択機能を使用）
3. ハイキングマップなどのPNG画像を選択
4. 「開く」をクリック
5. 画像が画面に表示されることを確認

 **ヒント:** Chrome、Edge等の対応ブラウザでは、後でJSONファイルを画像と同じフォルダに保存できます

2. 編集モードの選択

- **ポイント編集:** 個別のポイントを配置・管理
- **ルート編集:** ルートの中間点を配置

3. レイアウトの選択

- **サイドバー:** 左側に地図、右側にコントロールパネル
- **オーバーレイ:** 全画面地図、右上にフローティングパネル

ポイント編集モード

ポイントの追加

1. 編集モードで「ポイント編集」を選択
2. 地図上の任意の場所をクリック
3. 赤いマーカーが表示される
4. 自動的にID入力欄が表示され、フォーカスされる
5. 4文字以内のIDを入力（例：A001、START、GOAL）
6. 他の場所をクリックすると入力が確定

ポイントの管理


- **ID入力:** 英数字のみ、自動的に大文字に変換
- **自動削除:** IDが空欄のまま他の場所をクリックすると自動削除
- **最大文字数:** 4文字まで

ポイントの削除

- **個別削除:** ID入力欄を空にして他の場所をクリック
- **一括削除:** 「ポイントをクリア」ボタンをクリック

データの出力

1. 「ポイントをJSON出力」 ボタンをクリック
2. ファイル保存ダイアログが表示される
3. **対応ブラウザ（Chrome、Edge等）** :
 - PNG画像と同じフォルダが自動的に開く
 - デフォルトファイル名：`{画像名}_points.json`（例：`hakone_map_points.json`）
 - 任意のファイル名に変更可能
4. **その他ブラウザ**：従来のダウンロード方式
5. 「保存」をクリックするとJSONファイルが保存される

 **保存場所**: 対応ブラウザでは画像ファイルと同じフォルダに保存されるため、ファイル管理が簡単です

データの読み込み

1. 「ポイントのJSON読込」 ボタンをクリック
2. 既存のJSONファイルを選択
3. ポイントデータが復元される

ルート編集モード

ルートの作成

1. **事前準備**：ポイント編集モードで開始・終了ポイントを作成
2. 編集モードで「ルート編集」を選択
3. 開始ポイントIDを入力（既存のポイントID）
4. 終了ポイントIDを入力（既存のポイントID）
5. 地図上をクリックして中間点を追加
6. 青いマーカーが表示される

 **重要**: 開始・終了ポイントは事前にポイント編集モードで登録しておく必要があります

中間点の管理

- **追加**: 地図上をクリック
- **削除**: 「ルートをクリア」 ボタンで一括削除
- **表示**: 青色の小さなマーカー（半径3px）

ルートデータの出力

1. 開始・終了ポイントが設定されていることを確認
2. 「ルートをJSON出力」 ボタンをクリック
3. **自動チェック**：開始・終了ポイントが登録済みポイントとして存在するか確認
4. ファイル保存ダイアログが表示される
5. **対応ブラウザ（Chrome、Edge等）** :
 - PNG画像と同じフォルダが自動的に開く
 - デフォルトファイル名：`{画像名}_route_{開始}-{終了}.json`（例：`hakone_map_route_A1-B5.json`）
 - 任意のファイル名に変更可能

6. **その他ブラウザ**：従来のダウンロード方式
7. 「保存」をクリックするとJSONファイルが保存される

☒ **自動チェック機能**: 存在しない開始・終了ポイントIDを指定した場合、エラーメッセージが表示されます

ルートデータの読み込み

1. 「ルートJSON読み込み」ボタンをクリック
2. 既存のルートJSONファイルを選択
3. ルートデータが復元される

レイアウトの切り替え

サイドバーレイアウト

- **特徴**: 左側に地図、右側にコントロールパネル
- **用途**: デスクトップ環境での作業
- **パネル幅**: 240px

オーバーレイレイアウト

- **特徴**: 全画面地図、右上にフローティングパネル
- **用途**: 大きな地図表示が必要な場合
- **背景**: 半透明効果

切り替え方法

1. 右上のレイアウト選択ボタンをクリック
2. 「サイドバー」または「オーバーレイ」を選択
3. レイアウトが即座に切り替わる

データの保存と読み込み

ポイントデータの構造

```
{
  "totalPoints": 5,
  "imageInfo": {
    "width": 1920,
    "height": 1080
  },
  "points": [
    {
      "index": 1,
      "id": "A001",
      "x": 640,
      "y": 480,
      "isMarker": false
    }
  ]
}
```

```
    }  
  ],  
  "exportedAt": "2025-01-08T12:34:56.789Z"  
}
```

ルートデータの構造

```
{  
  "routeInfo": {  
    "startPoint": "START",  
    "endPoint": "GOAL",  
    "waypointCount": 3  
  },  
  "imageInfo": {  
    "width": 1920,  
    "height": 1080  
  },  
  "points": [  
    {  
      "type": "waypoint",  
      "index": 1,  
      "x": 320,  
      "y": 240  
    }  
  ],  
  "exportedAt": "2025-01-08T12:34:56.789Z"  
}
```

データの互換性

- **画像サイズ**: 同じ画像を使用することを推奨
- **座標変換**: 異なるサイズの画像でも自動調整
- **ID管理**: ポイントIDは一意である必要がある

よくある質問（FAQ）

Q1: 対応していない画像形式はありますか？

A: PNG形式のみ対応しています。JPG、GIF、BMPなどは使用できません。

Q2: ポイントのIDは何文字まで入力できますか？

A: 最大4文字まで入力可能です。英数字のみ使用できます。

Q3: 一度に何個のポイントを追加できますか？

A: 制限はありませんが、大量のポイントは画面が見づらくなる可能性があります。

Q4: ルート編集で開始・終了ポイントは必須ですか？

A: はい、必須です。また、指定したポイントIDは事前にポイント編集モードで登録されている必要があります。

Q5: データを失わずに画像を変更できますか？

A: 画像を変更すると、現在のポイント・ルートデータはクリアされます。事前にJSON出力を推奨します。

Q6: モバイル端末でも使用できますか？

A: 対応していますが、デスクトップ環境での使用を推奨します。

Q7: ファイルが画像と同じフォルダに保存されないのはなぜですか？

A: File System Access API対応ブラウザ（Chrome 86+、Edge 86+）でのみこの機能が利用できます。その他のブラウザでは従来のダウンロード方式になります。

Q8: ルート出力時にエラーが表示されます

A: 開始・終了ポイントのIDが登録済みのポイントと一致しているか確認してください。大文字・小文字も完全に一致する必要があります。

Q9: ファイル選択ダイアログが二度表示されることがあります

A: 最新バージョンでは修正済みです。古いバージョンをお使いの場合は、ページを再読み込みしてください。

トラブルシューティング

画像が読み込めない

原因: ファイル形式がPNG以外 **解決方法:** PNG形式の画像を選択してください

ポイントが追加されない

原因: 画像が読み込まれていない **解決方法:** 先にPNG画像を読み込んでください

ID入力欄が表示されない

原因: ポイント編集モードになっていない **解決方法:** 編集モードを「ポイント編集」に切り替えてください

データが出力されない

原因: ポイントが追加されていない **解決方法:** 地図上にポイントを追加してから出力してください

画面が正しく表示されない

原因: ブラウザの互換性問題 **解決方法:** Chrome、Firefox、Edge、Safariの最新版を使用してください

ファイルがダウンロードされない

原因: ブラウザの設定でダウンロードがブロックされている **解決方法:** ブラウザの設定でダウンロードを許可してください

ルートが出力できない

原因1: 開始・終了ポイントが未設定 **解決方法:** 両方のポイントIDを設定してください

原因2: 指定したポイントIDが存在しない **解決方法:** 先にポイント編集モードで該当IDのポイントを作成してください

ファイル保存場所が分からない

原因: ブラウザの既定のダウンロードフォルダに保存されている **解決方法:** Chrome、Edge等の対応ブラウザを使用すると、画像と同じフォルダに保存できます

操作のコツ

効率的なポイント配置

1. **計画を立てる:** 事前にポイントの配置計画を立てる
2. **ID命名規則:** 分かりやすいID命名規則を決める（例：A001、B001）
3. **段階的作業:** 大きな地図はエリアごとに分けて作業

データ管理のベストプラクティス

1. **定期的な保存:** 作業中は定期的にJSON出力する
2. **バックアップ:** 重要なデータは複数バックアップを取る
3. **ファイル命名:** 対応ブラウザでは自動的に分かりやすいファイル名が生成される
4. **フォルダ整理:** 画像と同じフォルダに保存されるため、プロジェクトごとにフォルダを分ける
5. **ルート作成:** 先にポイントを作成してからルート編集を行う

パフォーマンスの最適化

1. **画像サイズ:** 適切なサイズの画像を使用
2. **ポイント数:** 必要最小限のポイント数に抑える
3. **ブラウザ:** 最新のブラウザを使用

作成日: 2025年1月8日

バージョン: 1.1

更新日: 2025年1月9日

対象アプリケーション: PickPoints v1.2

更新内容: File System Access API対応、ルートファイル名自動生成、開始・終了ポイント存在チェック機能追加

作成者: Claude Code